

スキャンオート 取扱説明書

- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他の社名、または商品名などは、各社の登録商標または商標です。

ご注意

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
DocuWorks は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

本書の使い方

本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。

本書の表記

- 本書では、ハードディスクやソリッドステートドライブなどを総称して「ストレージ」と表記します。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。



注記

必ず知っておいていただきたい情報、操作するときには必ず確認していただきたい情報を記載しています。



補足

操作の参考になる情報を記載しています。



参照

参照先を記載しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

「 」	<ul style="list-style-type: none">・ 本書内にある参照先を表しています。・ 機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。
『 』	<ul style="list-style-type: none">・ 参照するマニュアルを表しています。
[]	<ul style="list-style-type: none">・ 機械のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。・ コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
{ }	<ul style="list-style-type: none">・ 操作や動作環境によって変わる値を表しています。 例：[{ログインユーザー名}] が表示されます。
< > ボタン	<ul style="list-style-type: none">・ 機械の操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
< > キー	<ul style="list-style-type: none">・ コンピューターのキーボード上のキーを表しています。
>	<ul style="list-style-type: none">・ 操作パネルやコンピューターで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。

1 動作環境

複合機

スキャンオートは、次の環境で動作します。

お使いの複合機の環境が条件を満たしていない場合は、必要なオプションを増設してください。

- ・ ストレージ搭載機
- ・ システムメモリー 2 GB 以上搭載機
- ・ プリンターキット搭載機
- ・ スキャナーキット搭載機

お使いの複合機が、ストレージ、およびシステムメモリーの環境が条件を満たしているかを確認する手順は、次のとおりです。

操作手順

- 1** [設定] > [機械確認/レポート] を押します。
- 2** [機械構成] を押します。
- 3** [ストレージ] の項目が表示されていることと、[システムメモリーサイズ] の項目が 2,048 MB 以上であることを確認します。

2 環境設定

お使いの複合機で、スキャンオートを利用するための環境を設定します。



- ・本機能を使用するには、カスタムサービスと組み込みプラグイン機能を有効にしてください。

複合機の設定

次の設定が必要です。各設定の詳細な手順については、複合機のマニュアルを参照してください。

項目	設定内容
SOAP- ポート	[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SOAP] ・ SOAP- ポート：起動 ・ SOAP- ポート番号：80
プロトコル設定	[設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP- ネットワーク設定] ・ IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で複合機を使用するための設定
Web ブラウザー設定	[設定] > [アプリ設定] > [Web ブラウザー設定] ・ [外部アクセスバージョンの選択]：[V5] ・ [終了時のキャッシュ削除]：無効 ・ [キャッシュの使用]：有効 補足 ・ [Web ブラウザー設定] が表示されない場合は、ソフトウェアオプションのパスワード設定、またはカスタムサービスの有効化が必要です。

なお、認証機能を利用する場合は、次のように設定されているか確認してください。

項目	設定内容
認証方式の設定	[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証 / 集計の設定] ・ [認証 / 集計の設定]：[本体認証 / 集計] または [ネット認証 / 集計] 本体認証の場合は、[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] ・ ユーザーの登録 補足 ・ 外部認証の場合は、ユーザー登録は必要ありません。
アクセス制御	[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [アクセス制御] ・ [デバイスへのアクセス]：[制限する]



- ・認証モードが [カスタム認証] の場合、インターネットサービスで [外部認証の設定] > [認証システム] を [Authentication Agent] に設定すると、スキャンオートでサービスの利用制限が適用されません。そのため、コピーやスキャンの利用を制限していても、スキャンオートは利用可能な状態となります。
- ・本機能は、[認証 / 集計の設定] を [認証しない] に設定し、IC カードリーダーを接続している場合、IC カードの情報を利用できません。



- ・設定内容によっては、複合機の再起動が必要です。再起動を指示する画面が表示された場合は、再起動してください。

スキャンオートを利用するための環境設定

スキャンオートを利用するために、次の設定をする必要があります。

参照

- ・各設定の詳細な手順については、複合機のマニュアルを参照してください。

補足

- ・Web ブラウザーで、JavaScript を有効にしてください。

HTTP 接続の設定

- ・ [設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [インターネットサービス (HTTP)] > [インターネットサービス - ポート] を [起動] に設定する。

スキャナー (メール送信) の設定

- ・ [設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [メール送信] > [メール送信 - ポート] を [起動] に設定する。
- ・ [設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP- ネットワーク設定] で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で複合機を使用するための項目を設定する。
- ・ [設定] > [ネットワーク設定] > [本体メールアドレス / ホスト名] で、本体メールアドレスやホスト名などを設定する。
- ・ [設定] > [ネットワーク設定] > [その他の設定] > [メール受信プロトコル] を [SMTP]、または [POP3] に設定する。
- ・ [設定] > [ネットワーク設定] > [メール送受信設定] > [SMTP サーバー設定] で、SMTP サーバーの設定をする。
- ・ 受信プロトコルが POP3 の場合は、[設定] > [ネットワーク設定] > [メール送受信設定] > [POP3 サーバー設定] で、POP3 サーバーの設定をする。

スキャナー (PC 保存) の設定

- ・ コンピューター側でスキャンしたデータを保存する共有フォルダーを作成する。
- ・ SMB プロトコルを使用する場合は、[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SMB クライアント] > [SMB クライアント - ポート] を [起動] に設定する。
- ・ FTP プロトコルを使用する場合は、[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [FTP クライアント] > [FTP クライアント - ポート] を [起動] に設定する。
- ・ [設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP- ネットワーク設定] で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で複合機を使用するための項目を設定する。

認証ユーザーのメールアドレスの設定

- ・ 認証機能を利用している場合は、本機能を使用するユーザーを登録し、ユーザーのメールアドレスを設定する。

3 スキャンオートについて

「スキャンオート」とは、初めてスキャン機能を利用する方でも操作しやすい、原稿をセットしてスタートを押すだけでスキャンができる機能です。詳細の設定が不要で、自動的に原稿の向きや両面 / 片面、および両面 / 片面の混在などが検知されるので、デジタルカメラのフルオートモードのように簡単にスキャンできます。

スキャンデータは、PDF または DocuWorks ファイルとして、指定したメールアドレス（認証機能を利用している場合は、認証ユーザーのメールアドレス）宛てに送信できます。また、スキャン送信機能でスキャンデータをコンピューターに保存できます。

ここでは、本機能に関する、次の項目について説明します。

スキャンする

「スキャンオート」の、基本的な操作の流れを説明します。

操作手順

1 複合機が認証モードで運用されているときは、認証情報を入力してログインします。





- ・認証モード運用時でも、管理者の設定で未認証時の使用が許可されているときは、認証情報を入力しなくてもスキャンオートを使用できます。

2 「スキャンオート」を押します。



3 宛先を設定します。

メールアドレスを設定している認証ユーザーの場合、または管理者が送信先メールアドレスを固定で設定している場合は、自動的にメールアドレスが表示されます。

メールアドレスの表示エリアが空欄の場合は、次のいずれかの方法で入力します。

- ・  を押して表示されるアドレス帳から選択します。
宛先にサーバー (FTP/SMB) を選択して、コンピューターにスキャンしたデータを保存することもできます。
宛先の登録は、機械本体の [アドレス帳] から行ってください。
- ・  を押して表示される履歴から選択します。
宛先にサーバー (FTP/SMB) を選択した場合は、履歴から再度選択できません。
- ・ メールアドレスの表示エリアを押すと表示されるキーボードで、直接入力します。



- ・メールアドレスの表示状態は、管理者の設定によって異なります。また、 および  は、管理者の設定によっては表示されません。詳しくは、「送信先アドレスの初期値」(P.11) を参照してください。

4 必要に応じて、各項目を設定します。




- ・各設定項目について、詳しくは「各画面について」(P.8) を参照してください。



- ・カラーモードや解像度などは、[スキャン設定] 画面での設定によって異なります。

5 画面に表示されているイラストに合わせて原稿をセットし、スキャンをスタートします。 認証ユーザーのメールアドレス、または指定したメールアドレス宛てに、メールが届きます。

スキャンデータは、メールに添付されているか、またはメールに記載された URL をクリックすると取り出せます。

手順 3 で、 からサーバー (FTP/SMB) の宛先を選択した場合は、指定のアドレスにスキャンしたデータが保存されます。

参照

- ・原稿をセットする方法については、複合機のマニュアルを参照してください。

注記

- ・本機能の利用中は、ジョブの割り込みはできません。

補足

- ・スキャンデータは、管理者の設定により PDF、または DocuWorks ファイルとして取り出せます。

スキャンを中止する

スキャンを中止する手順について説明します。

操作手順

- 1 [ストップ] を押します。
- 2 [中止] を押します。

各画面について


ここでは、各画面で設定できる項目について説明します。

[スキャンオート] 画面

補足

- ・宛先の設定に関する項目については、「スキャンする」(P.7) の手順 3 を参照してください。

管理メニュー

画面左部の  を押し、[管理メニュー] を押すと、管理者設定画面が表示されます。

参照

- ・管理者設定画面については、「複合機の操作パネルから管理者設定を設定する」(P.10) を参照してください。

補足

- ・このボタンは、管理者権限のある認証ユーザーがログインした場合に表示されます。

スキャン設定

参照

- ・[スキャン設定] 画面について、詳しくは「[スキャン設定] 画面」(P.8) を参照してください。

[スキャン設定] 画面

[スキャン設定] 画面では、画質やファイルサイズに合った設定を選択できます。

[ファイル名] 画面

[スキャンオート] 画面で [ファイル名] を選択すると、[ファイル名] 画面が表示され、ファイル名を設定できます。

補足

- ・ [ファイル名] を表示させるには、管理者の設定が必要です。詳しくは、「設定できる項目」(P.10)の「[[ファイル名] ボタンの表示]」を参照してください。

**注記**

- ・ 言語をタイ語、ベトナム語、またはインドネシア語に設定している場合、設定できません。

補足

- ・ ファイル名ボタンとユーザー名ボタンなど、複数のボタンを押すことで、項目を組み合わせたファイル名を設定することもできます。

ファイル名表示エリア

設定したファイル名が表示されます。

自動設定

有効にすると、自動でファイル名が「YYYY_MMDD_HHMMSS」に設定されます。

補足

- ・ 「YYYY_MMDD_HHMMSS」は、スキャン開始時の年月日時分秒です。

ユーザー名ボタン

認証ユーザーが利用している場合、ユーザー名が表示されます。このボタンを押すと、ユーザー名がファイル名として設定されます。

補足

- ・ 認証ユーザーにユーザー名が登録されている場合、ユーザー名がボタン名として表示されます。
- ・ 認証ユーザーにユーザー名が登録されていない場合、ユーザー ID がボタン名として表示されます。
- ・ 機械管理者でログインした場合、ユーザー名ボタンは表示されません。

日付ボタン

日付が表示されます。このボタンを押すと、日付がファイル名として設定されます。

補足

- ・ 日付をファイル名として設定した場合、ファイル名表示エリアで、日付部分の文字列を一部削除するなどの変更をすると、日付として認識されない場合があります。

[日付の設定] 画面

[ファイル名] 画面の、日付ボタンに表示される日付の、形式を設定できます。

日付の形式

日付の表示形式を選択します。

補足

- ・ [日付の区切り文字] で選択した項目が、[日付の形式] の選択項目に反映されます。

日付の区切り文字

YYYY、MMDD、DDMM、HHMMSS の区切りを [(なし)]、[_]、[-]、[.]、[年月日] から選択します。



補足


・[年月日] は、言語を日本語に設定している場合のみ表示されます。

複合機の操作パネルから管理者設定を設定する


機械管理者は、送信先アドレスの初期値や、ファイルの送付方法、文書の保存期間などを設定できます。



補足

・管理者権限のある認証ユーザーの場合は、[スキャンオート] 画面左部の  を押し、[管理メニュー] を押し、管理者設定画面が表示され、同様の設定ができます。

操作手順

- 1 複合機の操作パネルから、機械管理者モードに入ります。
- 2 [スキャンオート] を押します。
- 3 画面左部の  を押し、[管理メニュー] を押します。
- 4 設定する項目を選択し、設定します。
- 5 [保存] を押します。

インターネットサービスを使用して管理者設定を設定する

この操作をするには、機械管理者の権限が必要です。

操作手順

- 1 コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス欄に、お使いの複合機の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、インターネットサービスを起動します。
- 3 機械管理者モードに入ります。
- 4 次の操作をします。
 - (1) [システム] > [プラグイン設定] を押します。
 - (2) [組み込みプラグイン] で [Settings for Add-on Application] を選択します。
 - (3) [表示] をクリックし、管理者設定画面を表示します。



補足

・設定方法の詳細は、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

設定できる項目

ここでは、操作パネルを使って設定する場合を例に説明します。

インターネットサービスを使って設定する場合も、同様の項目を設定できます (一部を除く)。


送信先アドレスの初期値

送信先アドレスの初期値を、[認証ユーザーのアドレス]、[設定しない]、[固定アドレス] から選択します。

- 認証ユーザーのアドレス
認証機能を利用している場合、認証ユーザーのアドレスを自動的に取得するように設定します。
また、[アドレスの変更を許可]、および [送信履歴の使用を許可] を有効にするかどうかも設定します。



• この機能は、認証機能を利用している場合のみ設定できます。

- 設定しない
アドレスの入力欄を空白にし、ユーザーが入力できるようにします。
また、[送信履歴の使用を許可] を有効にするかどうかも設定します。
- 固定アドレス
管理者が指定した送信先アドレスに固定し、ユーザーが変更できないように設定します。
アドレス入力エリアを押すと表示されるキーボードで、送信先アドレスを入力します。また、 を押すと、アドレス帳を参照できます。



• インターネットサービスでは、アドレス帳の参照はできません。

送信履歴の削除

[はい (削除する)] を選択すると、送信済みの宛先の履歴を、すべて削除します。

メール送信時の送付方法

メール送信時のファイルの送付方法を、[自動切り替え (添付 /URL 送信)]、[本体に一時保存 (URL 送信)] から選択します。

[自動切り替え (添付 /URL 送信)] を選択すると、スキャンデータのサイズによって、メールに添付するか、[本体に一時保存 (URL 送信)] の動作をするかが、自動的に切り替わります。

[本体に一時保存 (URL 送信)] を選択すると、スキャンデータを本体に一時保存し、宛先のメールアドレスに、取り出し用と削除用の URL が記載されたメールを送信します。

また、[自動切り替え (添付 /URL 送信)] を選択した場合、添付ファイルの上限サイズを設定します。



• ファイアウォールを使った環境では、[本体に一時保存 (URL 送信)] に設定してスキャンデータを送信した場合、外部のネットワークに接続されたコンピューターで、指定された URL からスキャンデータの閲覧、および取り出しができません。

その場合、[自動切り替え (添付 /URL 送信)] に設定すると、スキャンデータがメールに添付され、取得できますが、ネットワークの接続方法によっては、スキャンデータのセキュリティが保護されないことがあります。

なお、メール添付ができるのは、200 MB までです。[ファイル添付上限サイズ] は、200 MB に設定してください。

URL 送信時の文書保存期間

本体に、一時的に保存される文書の保存期間を、1 時間単位で、1～168 時間の間で設定できます。

ジョブ実行後の設定値の保持

[する] を選択すると、ジョブ終了後も、前回のスキャンオートでの設定を、保持します。

[ファイル名] ボタンの表示

[スキャンオート] 画面に、[ファイル名] ボタンを表示させるかどうかを設定します。

[しない] に設定すると、ファイル名は自動設定となります。

ファイル名の定型文字列

[ファイル名] 画面のファイル名ボタンに表示する定型文字列を変更できます。

よく使うファイル名を登録しておく、スキャン時にワンタッチで設定できて便利です。



注記

- ・言語をタイ語、ベトナム語、またはインドネシア語に設定している場合、設定できません。



補足

- ・初期値として、12種類のファイル名が登録されています。
- ・ファイル名として登録できるのは、全角で7文字までです。最大文字数を超えて入力した場合は、超えた部分を削除して登録されます。

[スキャン設定] ボタンの初期値

[スキャンオート] 画面の [スキャン設定] の初期値を設定します。

また、それぞれの設定の詳細を確認できます。



補足

- ・各ボタンには、[白紙除去]、[圧縮方式] など、原稿を自動で判別する機能が設定されています。「注意 / 制限事項」(P.14) を、併せてご確認ください。
- ・[傾き補正] は機械管理者の設定が採用されます。
- ・この機能は、操作パネルを使った場合のみ表示されます。

自動正立



補足

- ・[する] に設定した場合、[原稿セット向き指定]、および [両面原稿送り] の設定は無効です。
- ・この機能については、「注意 / 制限事項」(P.14) を、併せてご確認ください。

原稿セット向き



補足

- ・[自動正立] を [しない] に設定している場合に、ここでの設定が有効になります。

両面原稿送り



補足

- ・[自動正立] を [しない] に設定している場合に、ここでの設定が有効になります。

出力ファイル形式

[PDF]、または [DocuWorks] を選択します。

傾き補正

[傾き補正] の初期値を設定します。

未認証時の使用

複合機を認証モードで運用しているときに、認証情報を入力しなくてもスキャンオートの操作ができるように設定できます。未認証時の使用を許可する場合はチェックを付けます。



補足

- ・[未認証時の使用] は、複合機が以下の条件をすべて満たすときに設定できます。
 - ・認証モードが [本体認証 / 集計]、[ネット認証 / 集計] のどれか
 - ・[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [アクセス制御] で、次の項目がどちらも [制限しない] になっている
 - [サービスへのアクセス] > [ボックス保存]
 - [機能の制限] > [ボックスからの外部取り出し]

トラブル対処

「スキャンオート」をお使いのうえで、何らかのトラブルが発生した場合に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因 / 対処
この機能は使用できません。	このメッセージは、何らかの理由で「スキャンオート」が使用できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、何らかの理由でスキャンが開始できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
機械内部または本機能で異常が発生しました。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、その他の何らかの理由で、本機能が使用できない場合に表示されます。 複合機の電源を切り、タッチパネルディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れ直してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

また、認証機能を利用している場合、さらに次のようなトラブルが発生することがあります。表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。


メッセージ	原因 / 対処
メールアドレスが取得できませんでした。 この機能を使用するには、認証時にメールアドレスが取得できる必要があります。	このメッセージは、管理者設定で [送信先アドレスの初期値] を [認証ユーザーのアドレス] に設定し、かつ認証ユーザーのメールアドレスが取得できない場合に表示されます。 機械管理者は、[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [メールアドレス] で、メールアドレスを設定してください。
あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、スキャンの使用を禁止されたユーザーが本機能を起動した場合に表示されます。 機械管理者は、[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[スキャナー] の制限を解除してください。
スタートできません。 あなたが使用したスキャンの累積ページ数は上限に達しています。 機械管理者に連絡してください。	このメッセージは、ユーザーのスキャンの累積ページ数が上限に達した場合に表示されます。 機械管理者は、次のいずれかの対応をしてください。 ・ [設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [累計ページ数をリセット] で、累計ページ数をリセットする。 ・ [設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、上限ページ数を増やす。

メッセージ	原因 / 対処
スタートできません。 あなたはこの機能の使用が禁止されています。	このメッセージは、次のいずれかの場合に表示されます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. スキャンの使用を禁止されたユーザーがスキャンをスタートした。 2. 認証ユーザーとして登録されていない <p>1 の場合、機械管理者は、[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] を選択し、ユーザーの [サービスの利用制限] で、[スキャナー] の制限を解除してください。</p> <p>2 の場合、機械管理者は、[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] でユーザーを登録してください。</p>

コンテンツ情報の確認

お問い合わせ時に、本機能のコンテンツ情報が必要な場合があります。次の手順に従って、コンテンツ情報を確認してください。

操作手順

- 1 画面左部の  を押し、[バージョン情報] を押します。
- 2 コンテンツ情報を確認します。
- 3 [閉じる] を押します。

注意 / 制限事項

「スキャンオート」を利用するうえでの注意 / 制限事項について説明します。

- 本機能は、PaymentKit などの機器を接続している場合の動作は保証しません。
- 追加型アプリケーションである「スキャンオート」は、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が可能になるまで時間がかかります。
- [自動正立] は、お使いの複合機で設定している言語をもとに、原稿の文字を自動で判別します。適切な言語に設定してください。
- [自動正立]、[白紙除去]、および [圧縮方式] は、原稿を自動で判別します。そのため、原稿によってはスキャン結果が異なることがあります。
- スキャンした原稿が片面原稿で、白紙除去をしない場合、原稿の向きと、自動正立として認識された向きが 90° ずれてしまい、PDF や DocuWorks 文書に変換したときに横向きと縦向きが交互に並んでしまうことがあります。向きを揃えるときは、原稿の向きを 90° 変えてスキャンしてください。
- 言語をタイ語、ベトナム語、またはインドネシア語に設定している場合、ファイル名は設定できません。

認証機能を利用している場合の注意 / 制限事項

認証機能を利用している場合は、さらに次のような注意制限事項があります。

- 本機能は、お使いの複合機に IC カードリーダーを接続している場合も利用できます。
- 認証モードが認証モードが [カスタム認証] の場合、インターネットサービスで [外部認証の設定] > [認証システム] を [Authentication Agent] に設定すると、本パッケージに含まれる機能において、サービスの利用制限が適用されません。そのため、スキャンの利用を制限していても、「スキャンオート」が利用可能な状態となります。
- 認証しないモードでかんたんメニューを表示しているときに、機械管理者でログインした場合は、メニューが更新されません。更新する場合には、リセットボタンを押してください。

4 設定情報のエクスポート / インポート

エクスポート / インポートの概要

「複合機追加型アプリケーション設定複製」を利用すると、本パッケージの各機能の設定情報をコンピューターに保存したり、ほかの複合機に複製したりできます。

設定をコンピューターに保存することを「エクスポート」、保存した設定を複合機に複製することを「インポート」と呼びます。

複製できる設定情報

エクスポート / インポートで複製できる設定情報は、次のとおりです。

- ・ スキャンオート
 管理者設定